



食育だより 第2

ヒンナヒンナ

ヒンナとは、アイヌ語で「食べ物に感謝する」という意味です。「いただきます」「ごちそうさま」という意味合いもあります。「命をいただきます」「心づくしをごちそうさま」という感謝の気持ちを大切にはぐくみたいですね。

令和3年10月31日 清水町

厚生労働省が定めた「保育所における食育に関する指針」では、次の5つを目標に掲げています。

- ① お腹がすくりズムの持てる子ども
- ② 食べたいもの、好きなものが増える子ども
- ③ 一緒に食べたい人がいる子ども
- ④ 食事づくり、準備にかかわる子ども
- ⑤ 食べたものを話題にする子ども

町の保育所、こども園ではこの目標を達成するために保育の中でいろいろな活動に取り組んでいます。ヒンナヒンナ第2号では、御影こども園の畑づくり、収穫の様子を取材しました。

御影こども園の食育活動「畑のごちそ



今年植えたのは、枝豆、トウモロコシ、カボチャ、トマト、人参、スイカなどの野菜たち。年長さんが中心となりお世話してきました。

